



**ちとせエコ通信
「エコつう」**

第 9 号

平成24年10月

発行：千歳市

環境課省エネ推進係

電話(24)0591

廃棄物対策課資源循環推進係

電話(23)2110

「節電の夏」終わる

各事業所での節電の取組



今年の夏は、北海道に暮らす私たちが、これまでになく「節電」を身近に考える季節となりました。

電力の供給不足を防ぐため、「平成22年の夏と比べて7%以上の節電」が目標となりましたが、それぞれの事業所、家庭において、さまざまな工夫と知恵で節電に取り組まれたのではないのでしょうか。

「ECOちとせ」認定事業所では、下の表のような電力使用量削減の取組が行われています(23年度ECOちとせ認定事業所取組結果より)。

【電力使用量削減の取組】

- ・ 昼休み等に関係なく、人のいない部屋は消灯し、使用していない機器は電源を切る
- ・ 照明器具をLED型照明に入替
- ・ 各個人が仕事の効率化を図り、時間外勤務を縮減して電力使用量の削減につなげる
- ・ 天気の良い日は仕事でも窓際などを消灯する
- ・ 自席の照明器具ごとにスイッチを設け、各自で管理する
- ・ 蛍光灯を間引きする
- ・ 健康・安全を第一に、日々の天候や気温を考慮して温度設定を行う
- ・ デマンド管理を取り入れ、電力使用量のピークを抑える
- ・ サーキュレーターを設置して室内の温度ムラを防ぐ

平成22年からECOちとせに取り組む山二総合保全株式会社では、緑のカーテンを取り入れて室温の上昇を防いでいます(↓写真)。お話を聞くと、大きく育ったアサガオで窓からの直射日光を遮ることで、室温が抑えられて事務作業がしやすくなったそうです。今回の節電期間中は、基本的にはうちわを使用し、冷房の使用は気温が30℃を超えてからにするなど、これまで以上に積極的に電力使用量抑制の取組を行いました。

今夏は記録的な残暑が続きましたが、計画停電などが実施されることなく、節電の対象期間が終了しました。道内では夏に引き続き冬期間も国から節電要請がさ



窓際に置かれたアサガオ

れる見込みです。暖房や融雪など、冬に電力使用のピークを迎える道内では、無理せず続けられる節電の取組を進める必要があります。

事業者のための

冬の節電・省エネセミナー

ECOちとせ認定事業者などを対象に、冬の節電・省エネのコツを伝授します。事業所での取組の参考に、お気軽にお申込みください(参加無料)。

日時…11月7日(水)10時～
場所…市民文化センター大会議室

エコちとせ認定事業所は、平成23年度から市の建設工事入札参加資格の加点対象となりました。

千歳市エコ商店の取組を紹介します

自然食品の店『にんじんや』の取組について聞きました

・店内の陳列棚のほか、再利用できるものは上手に再利用

「にんじんや」は、お客さんに気に入ってもらえる厳選した自然食品を中心に販売するお店です。

店内で使用している多くの陳列棚は、閉店したお店で使用されなくなったものや、中古品を有効的に再利用しています。それらの棚の中には、自分でペンキを塗った物や、使いやすいように造作した物などもあり、長い間大切に使用されています。また、商品入荷時のダンボール



ペンキを塗った陳列棚

の中に緩衝用等として入っている新聞紙・ビニールで再利用できる物は、お店から発送する荷物に再び使用しています。

来店されるお客さんの多くは、マイバッグを持参して来てくれますが、忘れた場合などには、再利用してもらうためにほかのお客さんが持ち込んだレジ袋を使用してもらっています。そのレジ袋は、店主がていねいにたたんで大・中・小に分けて紙袋へ収納する気づかいぶりです。

「にんじんや」では、市内の多くのスーパーがレジ袋を有料化するなどの「レジ袋削減に向けた取組」を実施する以前から、「マイバッグ持参」を提唱していました。その当時はまだマイバッグ持参が浸透していなかったため、お客さんに説明して理解してもらっていたそうです。



3種類に分けられて収納されたレジ袋

・環境を考えたエコな取組

「にんじんや」では、無添加で人にも環境にもやさしい商品を扱っており、容器入りよりも詰め替え用の商品が多く、有精卵・野菜・天然酵母パンなどを予約販売にしているため、商品の廃棄はほとんど出ないそうです。また、冷蔵庫の中には、扉ごとに温度計を入れて適切な温度管理をするなど、エコへの取組が随所に見られました。

自然食品の店 にんじんや

千代田町1丁目9-2

編集後記

▼この夏は、各地の動物園・水族館に行くこと計5回。なかでも印象的だったのが、北海道にいるはずのないジンベエザメが保護され、水槽を悠々と泳ぐ姿でした。異常気象か今後も続くのか？思わず温暖化を考える残暑厳しい夏でした。

▼今年4月から環境センター勤務となり、初めてリサイクルフェスティバルでの資源循環の啓発活動とエコ商店の取材を担当させていただきました。今回の取材を通して、エコへの取組は身近なところから実践していくことが大切であると実感しました。



詰め替え用無添加商品